

かつてアメリカではアルコール飲料の製造・販売を禁止する「禁酒法」が施行された時代がある。この激しい闘いを映像化した「アンタッチャブル」がヒットしたところをみると、現代のアメリカ人にとっても、禁酒法時代は懐かしく面白くかつドラマチックな時代だったのだろ。大阪に出張したある晩のこと。連れ立って飲みに行った先は、何やらいわく囁きのありそうな薄暗いバー。そこは、禁酒法時代に教会の地下室で人目を忍んで酒を飲んだ所を模していた。奥にはスポットライトに照らされた十字架が飾られ、壁伝いに水が流れ落ちている。反対側の壁にはパイプオルガンが設置され、アーチ式の柱には怪しげなうそくが螺旋状に巻き付けられている。私は俳人松尾芭翁による「おしゃれ空間記」を読みながら、この映画を見ていた。

おしゃれ空間見聞記

—亀井 創太郎—

にはスポットライトに照
らされた十字架が飾ら
れ、壁伝いに水が流れ落
ちている。反対側の壁に
はパイプオルガンが設置
され、アーチ式の柱には
怪しげなうそくが螺旋
(らせん) 状に巻き着けで
製作された照明がいく
大坂は、俳人松尾芭蕉だ
る終焉(えん)の地。最
晩年の句「旅に病んで夢
したビアレストランで
は、枯れかけた木々から
緑がよみがえり、大木と
和食レストラン。天井にな
つっていく様が演出され
ていて、想像力豊かなア
ートは人目に触れやすい

(亀井通産社長)

かつてアメリカではアルコール飲料の製造・販売を禁止する「禁酒法」が施行された時代があつた。シカゴのギャング、アル・カボネと政府財務局のエリオット・ネスとの激しい闘いを映像化した「アンタッチャブル」がヒットしたところをみると、現代のアメリカ人にとっても、禁酒法時代は懐かしく面白くかつドラマチックである。多くの回で、都で今人気のあるレス・トランやバーナード・ラミーなど、あるいは居酒屋を運営する大企業の社員たちが、禁酒法時代に飲んでいた先は、何やらいわく、因縁のありそうな薄暗いバー。そこは、禁酒法時代に教会の地下室で人目を忍んで酒を飲んだ所を模していた。興味

いつもぶら下がり、隅々に中心デーブルに案内され
はスキや満月のオブジで、雰囲気つくりのお手
エが枯れ野を演出していく。
——亀井創太郎——
閑静な住宅地に突如現
れたのは、飛行機の格納
庫。愛機セントルイス号
で西洋無着陸飛行を達成し、
「翼よ、あれがパリの灯だ」と叫んだリンドバ
ークの飛行機格納庫がおしゃれなレストラン群にな
っている。頭には飛行機のナリティーと本物(アーチ
オブジェ)がぶら下がり、その横にはパラシュートで今までに着
地しようとする飛行士が浮かんでいた。そこで、味わったガソ
ル・ステーションは、二コの名物料理——オーリンズと
破壊と再生をテーマにしたビアレストランで、多
くは、枯れかけた木々から緑がよみがえり、大木になっていく様が演出され
ている。おしゃれなグリルだ。
このようなテーマのはつきりしたレストランや
劇場などと併せて、『生き糧』から『文化の糧』
としての時代を経て、今まで「ドラマ」として
「おしゃれな空間や雰囲気」に加え、明確なオリジ
ナリティと本物(アーチオブジェ)を追求した
ト心と技を追求したところが、その横に積み重ねて置かれていた。それは、
おしゃれな空間や雰囲気であり、ポスト・モダンの心と技を追求したところが、その横に積み重ねて置かれていた。それは、
おしゃれな空間や雰囲気であり、ポスト・モダンの心と技を追求したところが、その横に積み重ねて置かれていた。それは、
おしゃれな空間や雰囲気であり、ポスト・モダンの心と技を追求したところが、その横に積み重ねて置かれていた。それは、